

取扱説明書

ポット用施肥機

SHK380



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。誤った使い方をすると、事故を引き起こすおそれがあります。
お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。

ポット用施肥機 SHK380を お買い上げいただき、ありがとうございます。

はじめに

- この取扱説明書は、『ポット用施肥機 SHK380』の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。**ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまで**お読みの上、正しくお取扱いただき最良の状態でご使用ください。
- お読みになった後も**必ず製品に近接して保存**してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合、速やかに当社にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容及び写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買い上げいただきましたお店、またはお近くの特約店・販売店・J Aにご相談ください。
-  印付きの下記マークは、安全上特に重要な項目ですので、必ずお守りください。



警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性がある物を示します。



注意

その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「**安全に作業をするために**」を記載してあります。ご使用前に必ずお読みください

目 次

はじめに

1. 安全に作業をするために 3 ~ 6
2. 安全銘板の貼り付け位置 7
3. 本製品の使用目的について 7
4. 各部の名称 8
5. 仕様 8
6. 組立要領 9 ~ 1 2
7. 運転 1 3 ~ 1 8
8. 点検及び保管上の注意 1 9

1. 安全に作業をするために

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む障害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。



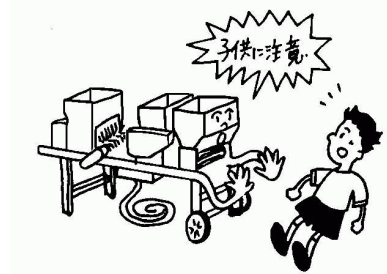
警告

子供を近づけない

子供には充分注意し、近づけないようにしてください。

【守らないと】

障害事故を引き起こすおそれがあります。



警告

電機部品・コードを必ず点検

配線コードが他の部品に接触していないか、被覆のはがれや接触部のゆるみがないかを毎日作業前に点検してください。

【守らないと】

ショートして、火災事故を起こすおそれがあります。



警告

2人以上で作業をする時は、お互いに合図しながら機械を始動する

【守らないと】

思わぬ事故になることがあります。



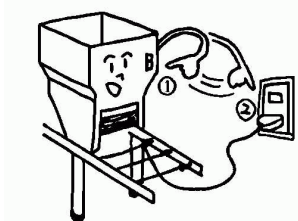
警告

点検・整備時には必ず電源を「OFF」にし、差込みプラグを抜く

点検・整備は、必ず電源スイッチを「OFF」にし、差込みプラグを抜いてから行ってください。

【守らないと】

思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。





注意

使用前に取扱説明書を必ず読む

使用前に取扱説明書をよく読んで、安全で正しい作業をしてください。

【守らないと】

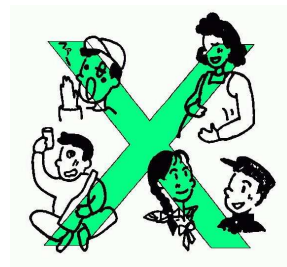
傷害事故や機械の破損を引き起こします。



注意

こんな時は作業しない

- 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
- 酒を飲んだ時
- 妊娠している時
- 18才未満の人



注意

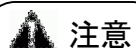
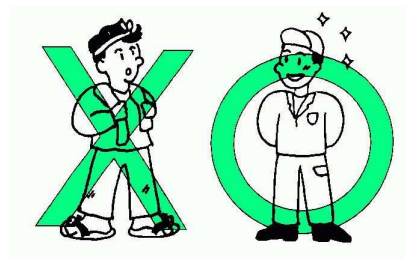
作業に適した服装をする

はち巻き・首巻き・腰タオルは禁止です。

作業に適した、だぶつきの無い服装をしてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれたりするおそれがあります。



注意

点検・整備を行う

機械を使用する前と後には必ず点検・整備をしてください。

【守らないと】

事故・ケガ、機械の故障を招くおそれがあります。



注意

電源はAC100V専用コンセントに接続する

また、たこ足配線はおやめください。

【守らないと】

火災事故の原因となります。



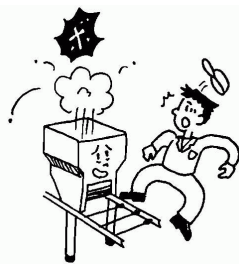


注意

作業中停電した場合は、必ず電源スイッチを切る

【守らないと】

通電時、急に回りだし思わぬ傷害事故を起こします。



注意

作業を中断・修了した場合は、必ず電源スイッチを切る

【守らないと】

ショートして、火災の原因になることがあります。



注意

カバー類は必ず取りつける

点検・整備などで取り外したカバー類は、必ず取りつけてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



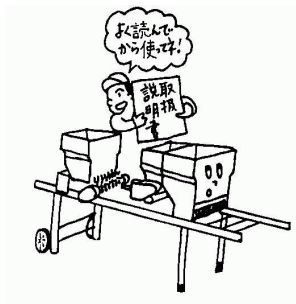
注意

機械を他人に貸す時は、取扱方法を説明する

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。

【守らないと】

傷害事故や、機械の破損を招くおそれがあります。



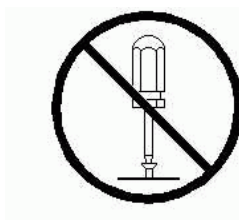
注意

機械の改造禁止

純正部品や指定以外のアタッチメントを取り付けしないでください。
また、改造はしないでください。

【守らないと】

事故・ケガ、機械の故障を招くおそれがあります。





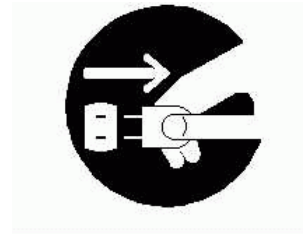
注意

後始末を忘れずにする

長時間使用しない時は、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

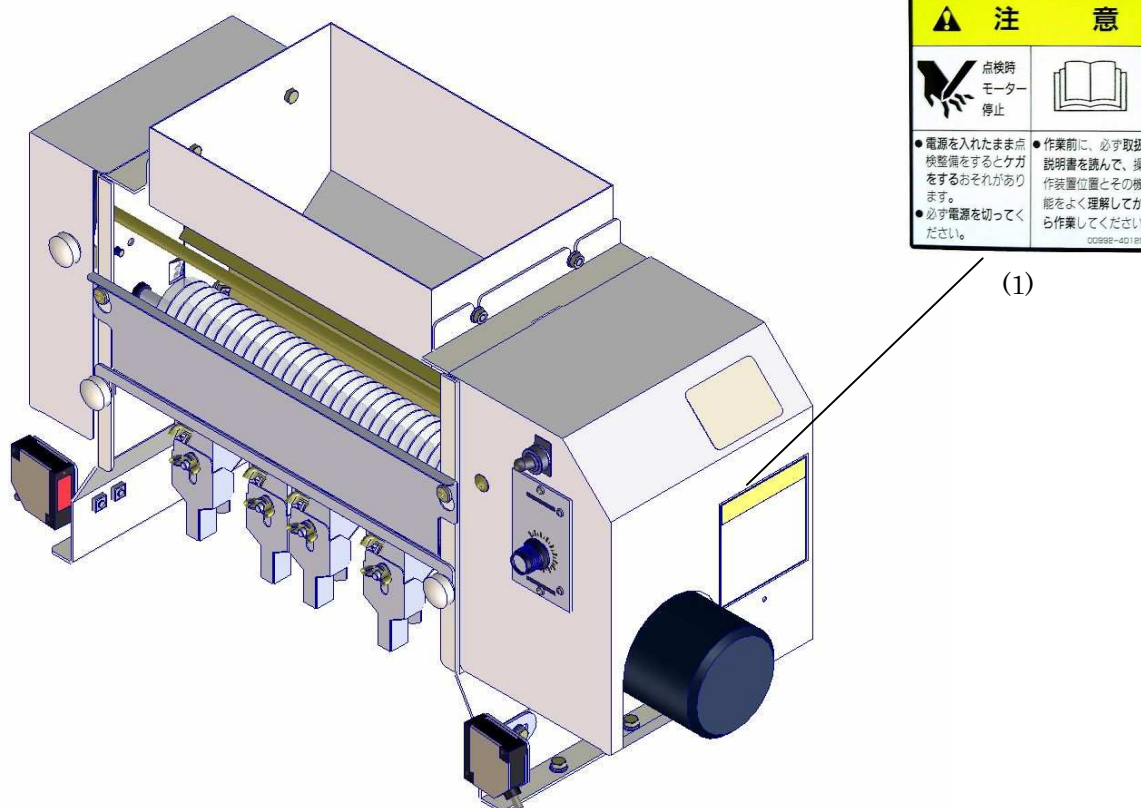
【守らないと】

火災事故や、感電故障を招くおそれがあります。



2. 安全銘板の貼り付け位置

安全に作業をしていただくために安全銘板の貼り付け位置を示したものです。
安全銘板は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しい物に貼り直してください。



紛失または破損された場合には、当社へ下記の表を参考にご注文ください。

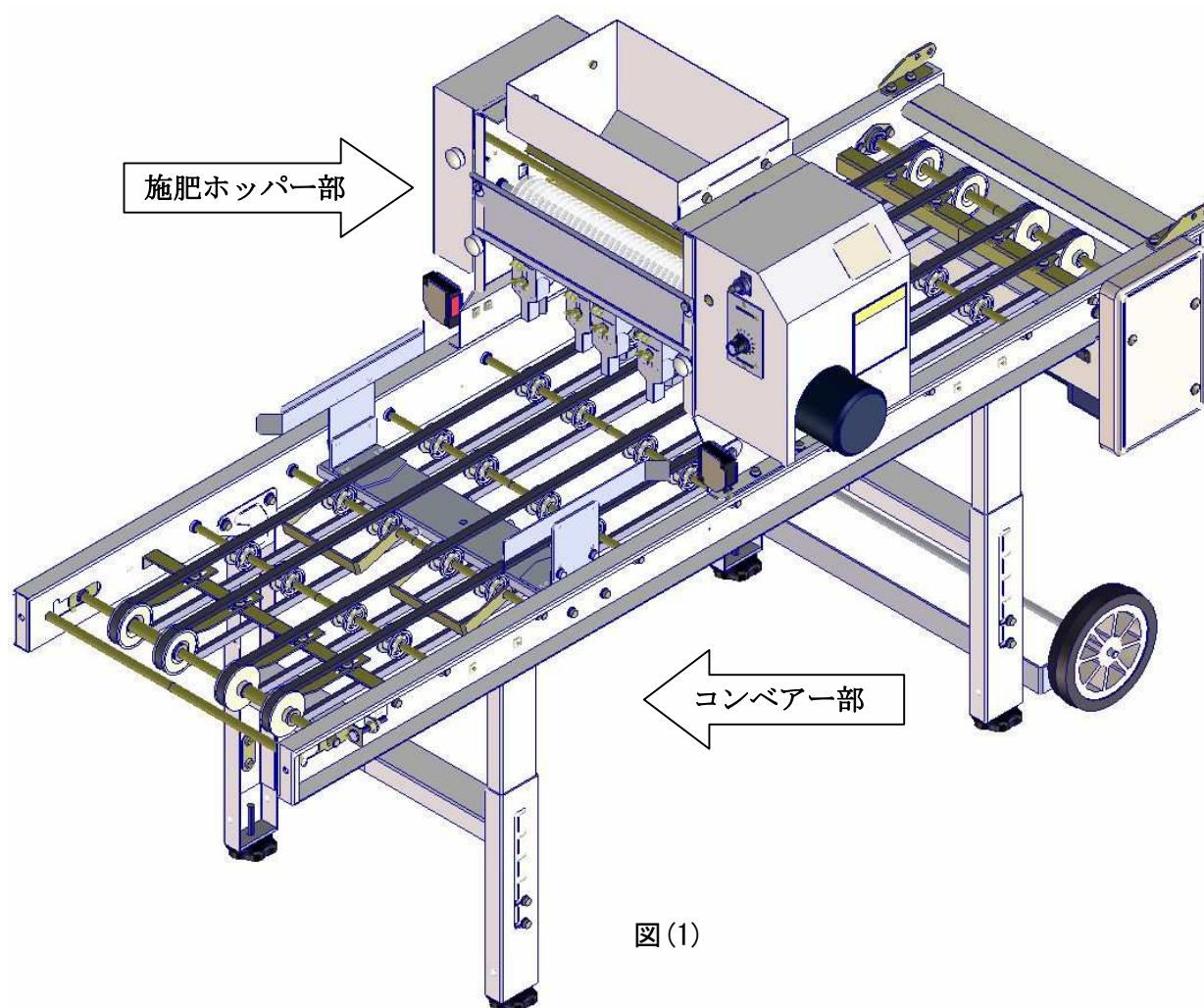
No	部品番号	部品名称
(1)	00992-40120	注意ラベル CL-9

3. 製品の使用目的について

本製品は、花卉用ポットトレイへの施肥の作業機としてご使用ください。

目的以外の作業や改造などは、決してしないでください。

4. 各部の名称



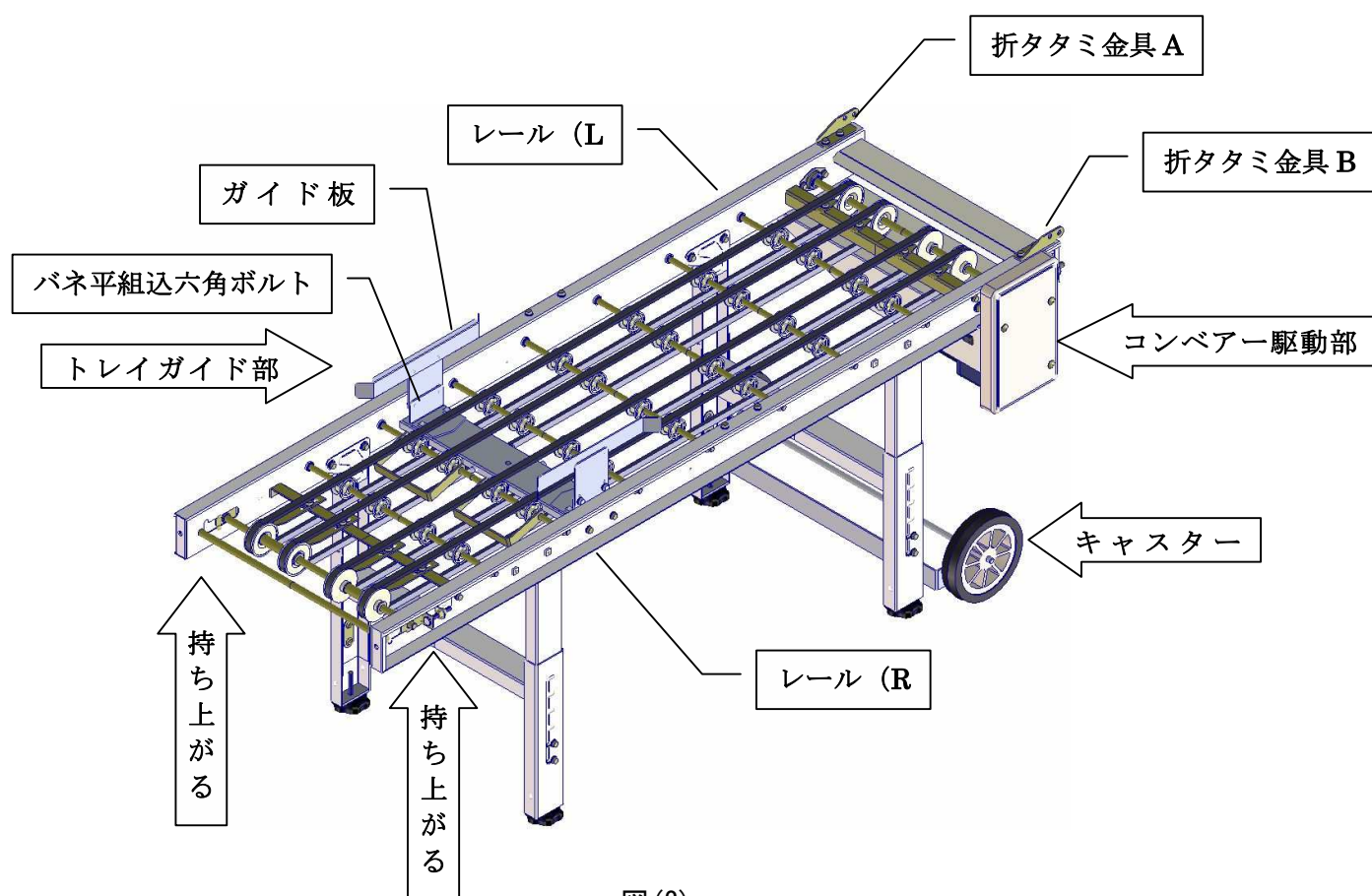
図(1)

5. 仕様

型 式		SHK380
機体寸法(全長×全幅×全高)		1555×670×990~1155mm
重 量		50 k g
動 力 (搬 送・施 肥)		各 40W/100V
ホ ッ パ ー 容 量		8 リットル
対 応 肥 料		エコロング・スーパーロング・ロングトータル花卉一号
能 力	3 . 0 寸	380 トレイ/時間≒9120 ポット/時間(1 トレイ 24 ポット)
	3 . 5 寸	400 トレイ/時間≒8000 ポット/時間(1 トレイ 20 ポット)

6. 組立要領

6-1 コンベア一部の組立



図(2)

図(2)のように、トレイガイド部のガイド板をポットトレイ枠の高さに合わせて、バネ平組込ボルト4本にて組み付けてください。

※コンベアを移動する場合は、図(2)のように、コンベアをレールの両端を持ち上げ、キャストを接地させて移動してください。

6-2 施肥ホッパー部の組立

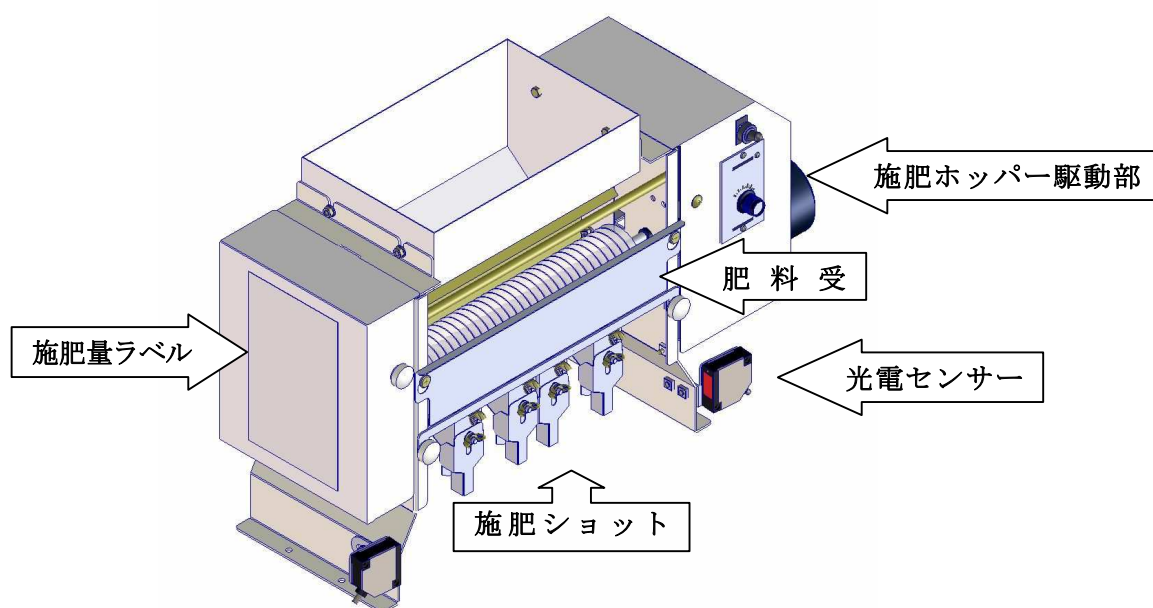


図 (4)

Ⅰ】施肥量ラベルは常に汚れや破損のないように保ち、もし**破損・紛失**した場合は、新しい物に貼り直してください。紛失または破損された場合は、当社へ下記の表を参考にご注文ください。

No	部品番号	部品名称
(1)	29203-31270	施肥量ラベル(SHK380)

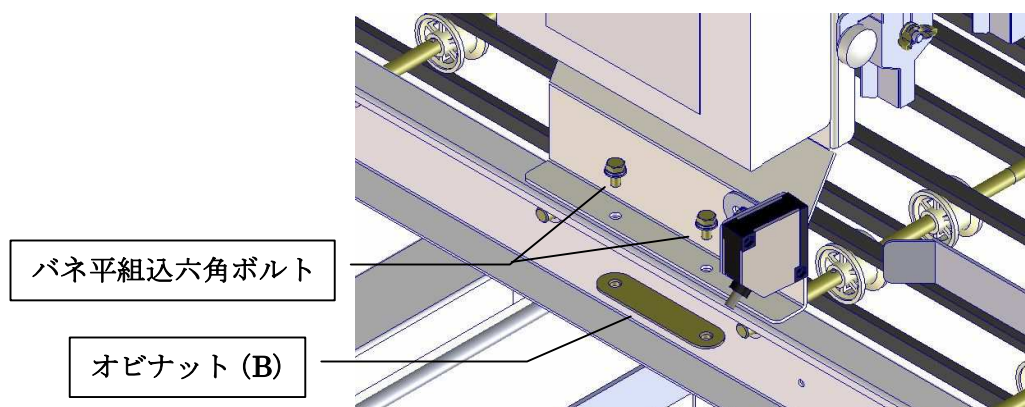


図 (5)

Ⅱ】図(5)のように、施肥ホッパー部をコンベアーのレールに載せ、オビナット(B)2枚とボルト4本にて組付けてください。また、施肥ホッパー部の方向は図(1)を参照してください。

6-3 ポット土入れ機との接続

- ① ポット土入れ機の補助レーンを取り外してください。
- ② ポット土入れ機と本機の高さ水平を出して、設置してください。
- ③ 外した補助レーンを図(6)のように、ポット用施肥機に接続してください。

補助レーンの組立方法は図(8)を参考してください。

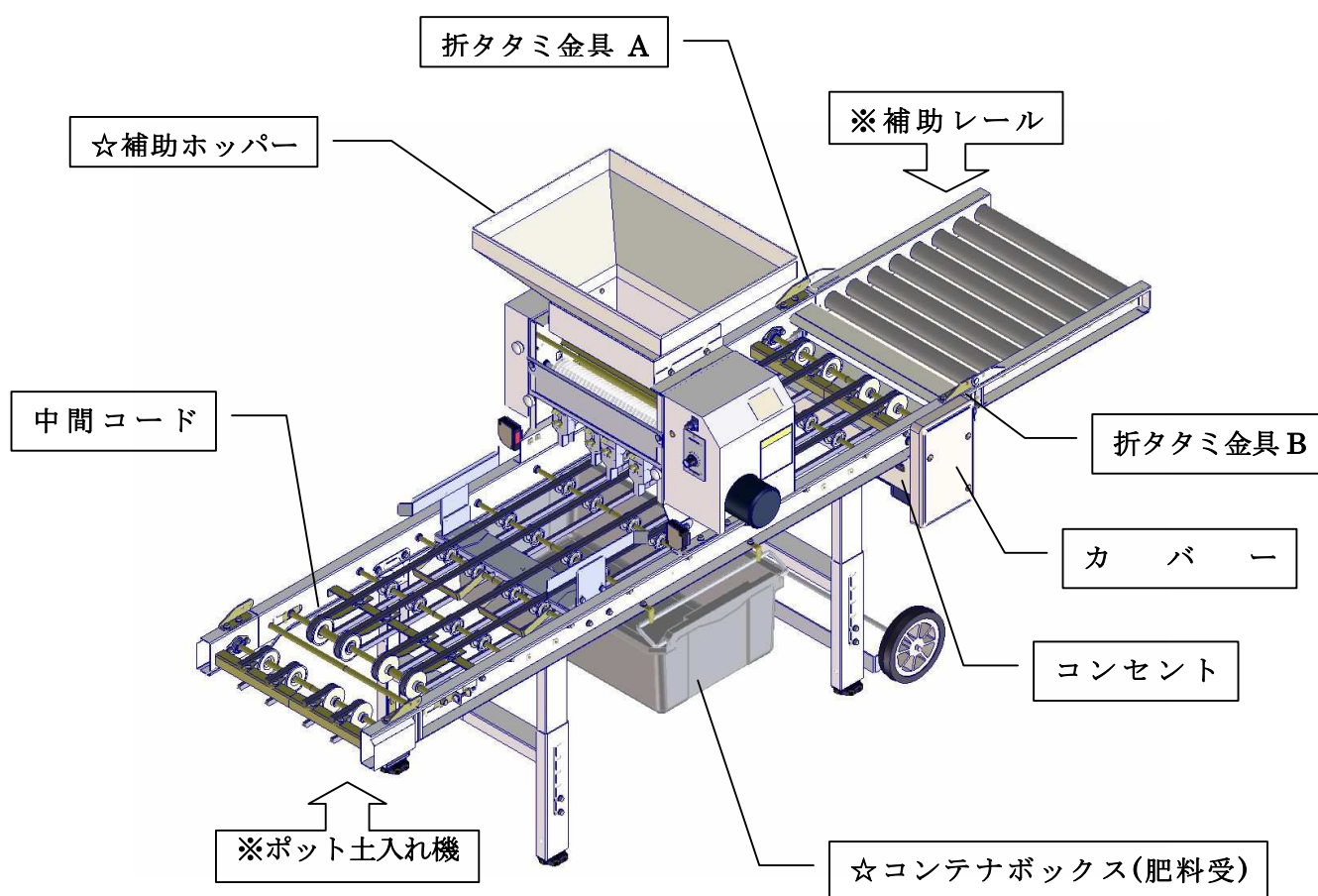


図 (6)

- ☆ 29203-31110_補助ホッパーと 20206-49103_コンテナボックスは別売となります。
- ☆ コンテナボックスは 20050-41400_水受金具(4 個)
20000-41780_バネ平組込六角ボルト(4 個)
01250-00606_座金付ナット(4 個)とセットします。

6-4 センサーコードの接続

- I】施肥ホッパー部の電源コードは、図(6)コンベアー駆動部のコンセントへ差し込んでください。コンベアーが停止すると施肥ホッパーも停止します。
- II】図(8)のように、補助レールのセンサーのコードをコンベアーの中間コードに接続し、反側のコードをポット土入れ機側のコードと接続します。

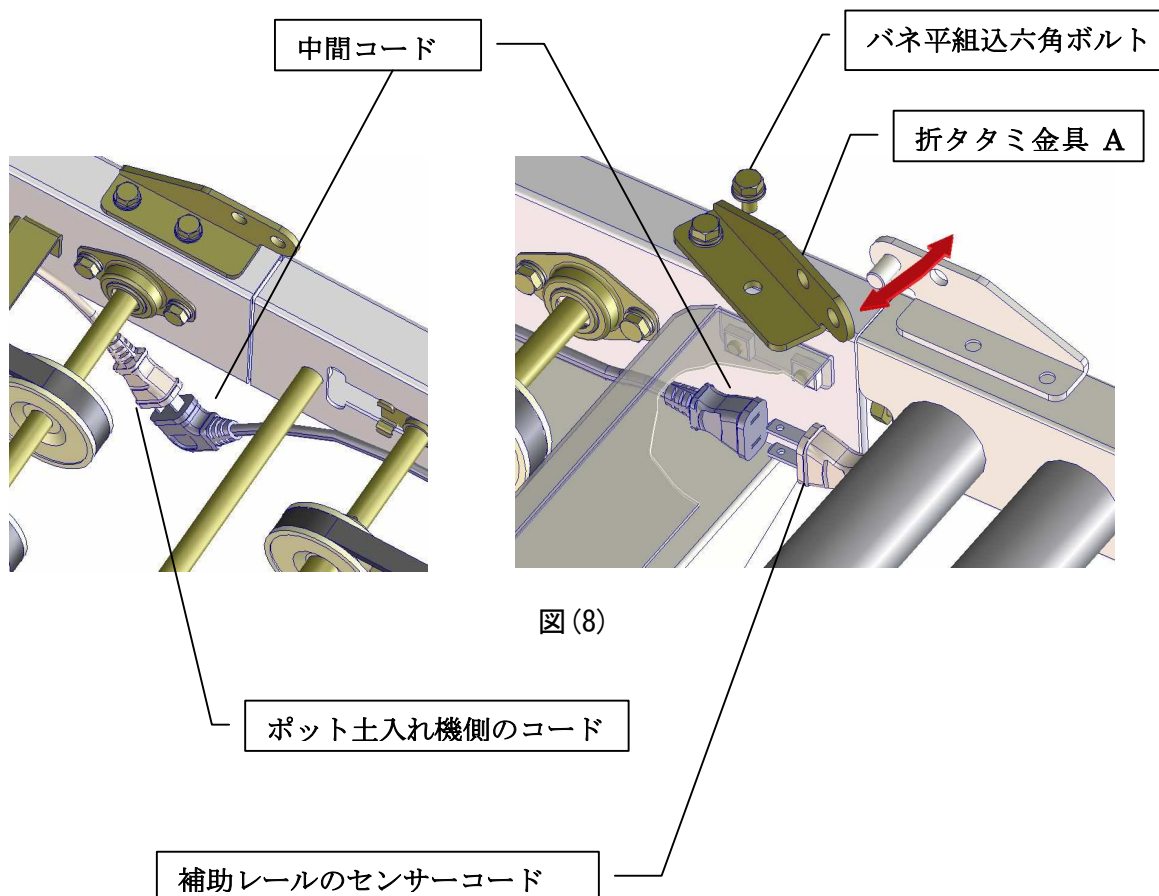


図 (8)

※【注 意】

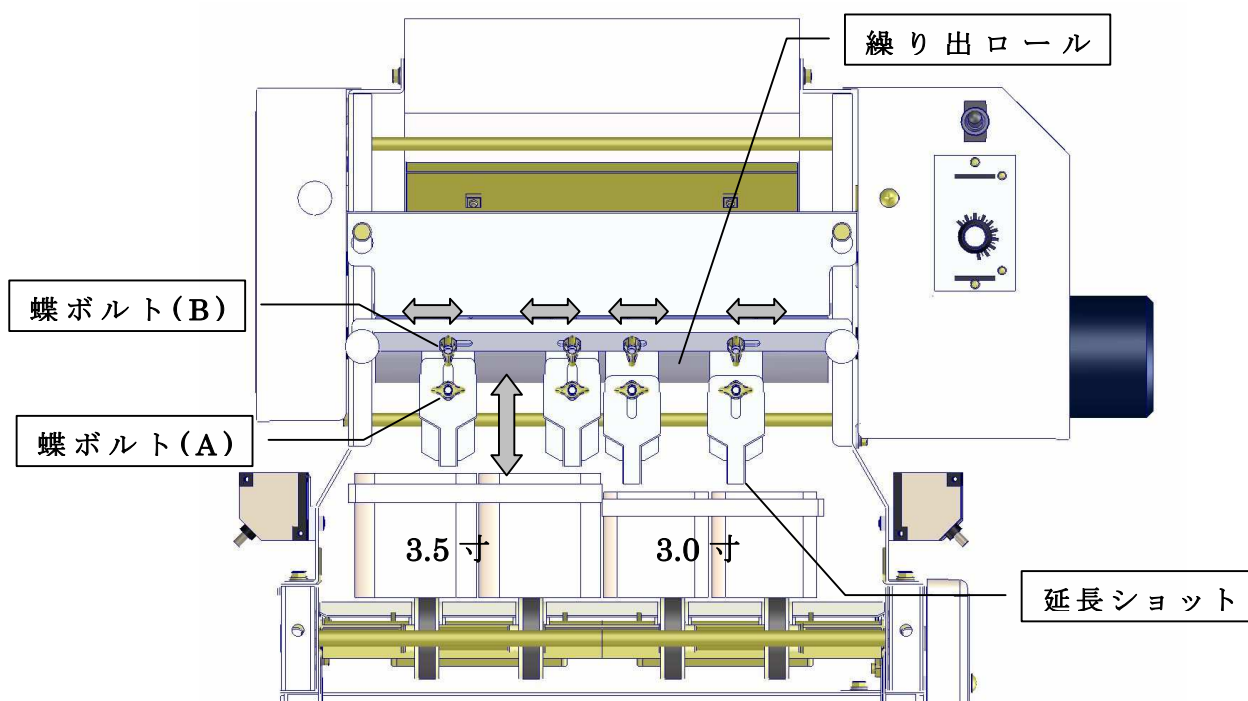
- ①ポット土入れ機 STK38P をご利用の場合は、補助レールが付いておりませんので本機はポット土入れ機 STK38P に直接接続してください。センサーコードを抜いて、ポット土入れ機の光電センサーを無効にしてください。
- ②ポット土入れ機の型式により、補助レールの形は異なりますので、ご注意ください。

7. 運転

7-1 本機の設置

◎本機が水平となっていることを確認してください。傾斜していると肥料が偏ってしまい左右の施肥量が違ってきます。

7-2 施肥ショットの設置



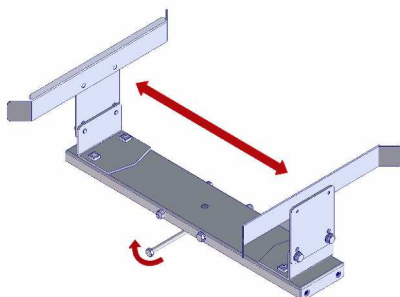
図(9)

図(9)のように、ショットは同じ形で4個があります。ポットトレイの高さに合わせて、蝶ボルト(A)にてショットの下部にある延長ショットを上下調節してください。また、ポットの適宜位置に施肥するよう、蝶ボルト(B)にてショットを左右調節してください。

【注 意】

- ◎ ポットトレイが引っ掛らない様、余裕(3~5 ミリ)をもって調節してください。
- ◎ 本ポット用施肥機の対応できるポットトレイは3.0 寸と3.5 寸です。

7-3 トレイガイドの調節



図(10)

図(10)のように、トレイガイドの下部にあるボルトにてポットトレイが中心にくるよう調節してください。（左回すとガイドが中心に寄せ、右回すとガイドが両側に広げる）

【注 意】

ポットトレイが引っ掛らない様、余裕（2～3 ミリ）をもって幅調節してください。

7-4 運転

注)電源電圧は AC100V±5V を安定して供給してください。

適切な電源電圧でないと、故障や動作不良の原因となります。

- (1) 駆動部より出ている電源コードを单相 100V に差し込んでください。
- (2) ポット土入れ機と連動する場合はポット土入れ機より電源を供給してください。
- (3) 施肥ホッパー部のコードを駆動部側面のコンセントに差し込んでください。
- (4) 駆動部に設置のメインスイッチを『ON』にします。
 - ・ 搬送ベルトが作動します。
 - ・ 施肥ホッパー部スイッチを『ON』にして、ポットトレイが通過すると、施肥ローラーが回ります。
- (5) 本機はメインスイッチを『OFF』にしますと全停止します。

【注 意】 光電センサーの光を遮光し、施肥ローラーを空運転させ、肥料が出る事を確認してから作業してください。

7-5 施肥量の調節

作業する際は、使用説明書を熟読の上ご使用ください。

- (1) 肥料の種類、大小により、供給量が異なりますので必ず実測してください。
- (2) 調整目盛は 1～10 迄の範囲で無段階に調整出来ます。
- (3) スプロケット、チェーンの掛け替えはカバー（左側）を外して行います。図(11)



注意

- ・ 取り外した回転部のカバー類は、必ず取り付けてください。
衣服が巻き込まれたりして傷害事故をひきおこすおそれがあります。

◎施肥量(1ポット当たり)3.5 寸ポットトレイの目安となります。

ポット用施肥機 SHK380

施肥量の調節

1. 作業環境の湿度、温度により、肥料の供給量が異なりますので、必ず実測してください。
2. スプロケット、チェーンの掛け換えはカバー（左側）を外して行います。

施肥量(1ポット当たり)

スプロケット 駆動・従動	ロングトータル花卉一号	
	施肥量 (g)	目盛り
13T-42T	1.0	4.0
19T-42T	1.5	4.0

スプロケット 駆動・従動	スーパーロング (70)	
	施肥量 (g)	目盛り
13T-42T	1.0	3.0
19T-42T	1.5	3.0

スプロケット 駆動・従動	エコロング (70)	
	施肥量 (g)	目盛り
19T-42T	1.0	3.0
27T-42T	1.5	4.0

スプロケット 駆動・従動	エコロング (40)	
	施肥量 (g)	目盛り
21T-42T	1.0	4.0
50T-42T	3.0	7.5

☆本ラベルはラベル表示の肥料に対応しています。使用する肥料の種類を確認してから使用してください。

☆作業終了後、必ずホッパー内の肥料を完全に排出してください。

☆土の混入又は、水に濡れた肥料は絶対ホッパーに入れないでください。故障の原因です。

☆清掃後の仕切板、ウシロ板（B）は取扱説明書を守って組付けてください。施肥量の過不足、故障の原因となります。

29203-31270

◎ 土の混入、又は水に濡れた肥料は絶対にホッパーへ入れないでください。
故障の原因となります。

◎施肥量(1ポット当たり)3.0 寸ポットトレイの目安となります。

ポット用施肥機 SHK380

施肥量の調節(3.0寸ポット用)

1. 作業環境の湿度、温度により、肥料の供給量が異なりますので、必ず実測してください。
2. スプロケット、チェーンの掛け換えはカバー(左側)を外して行います。

施肥量(1ポット当たり)

スプロケット 駆動・従動	ロングトータル花卉一号	
	施肥量(g)	目盛り
13T-42T	1.0	7.0
19T-42T	1.5	7.0

スプロケット 駆動・従動	スーパーロング(70)	
	施肥量(g)	目盛り
13T-42T	1.0	6.0
19T-42T	1.5	6.0

スプロケット 駆動・従動	エコロング(70)	
	施肥量(g)	目盛り
19T-42T	1.0	8.0
27T-42T	1.5	10.0

スプロケット 駆動・従動	エコロング(40)	
	施肥量(g)	目盛り
21T-42T	1.0	7.0
50T-42T	2.5	7.5
50T-※30T	3.0	5.0

☆本ラベルはラベル表示の肥料に対応しています。使用する肥料の種類を確認してから使用してください。

☆作業終了後、必ずホッパー内の肥料を完全に排出してください。

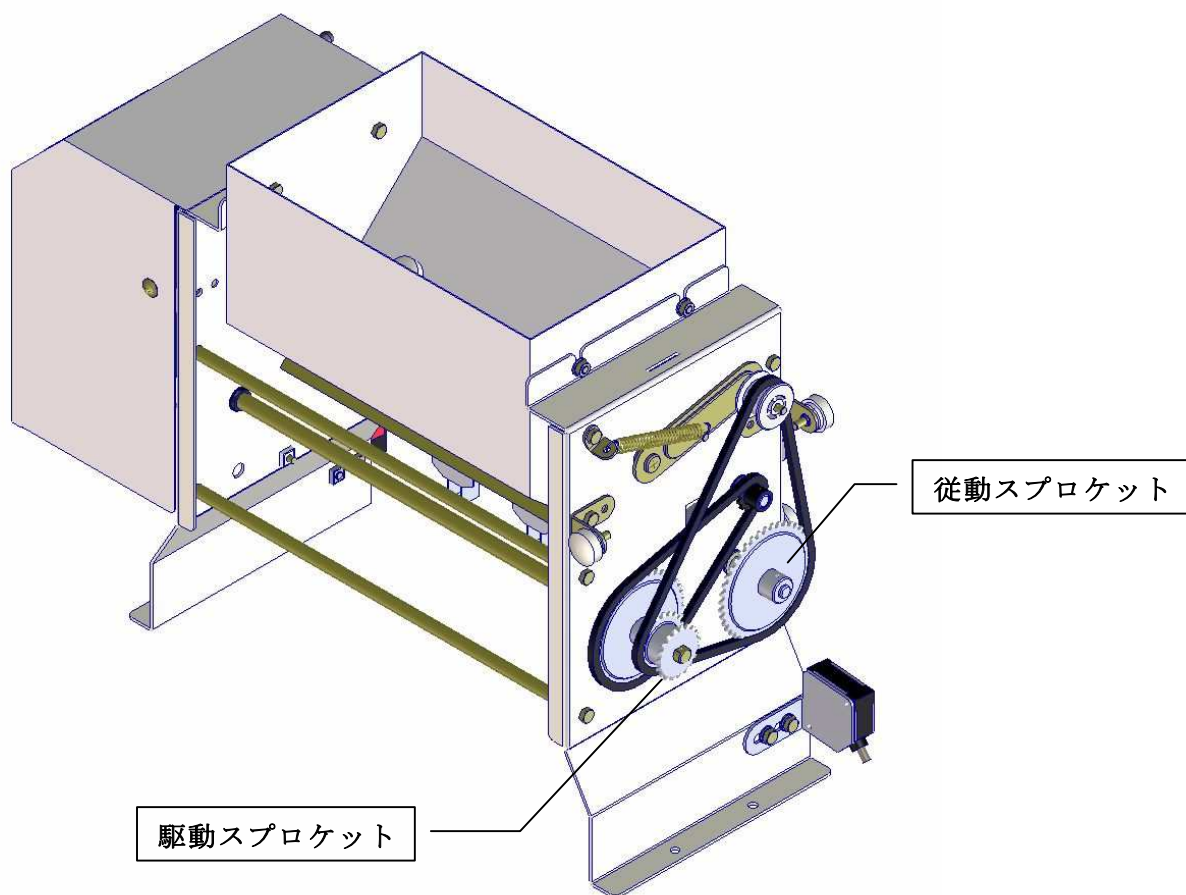
☆土の混入又は、水に濡れた肥料は絶対ホッパーに入れないでください。故障の原因です。

☆清掃後の仕切板、ウシロ板(日)は取扱説明書を守って組付けてください。施肥量の過不足、故障の原因となります。

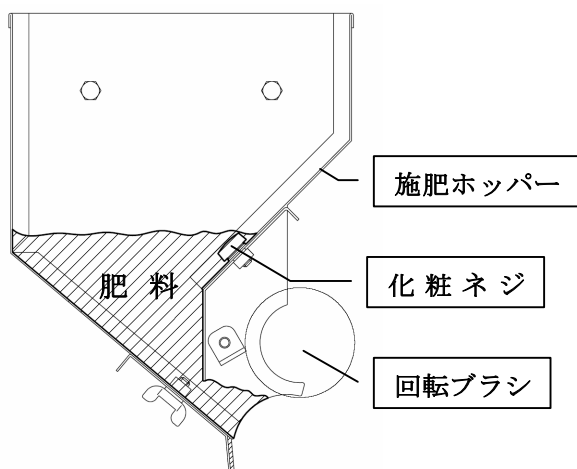
29203-31280

※30Tスプロケットはオプションとなります

※20170-41060_従動スプロケット30T別売となります。



図(11)



【注 意】

◎作業する際は、施肥ホッパーに化粧ネジが見えない位置迄肥料を入れてください。
施肥量が均一になりません。

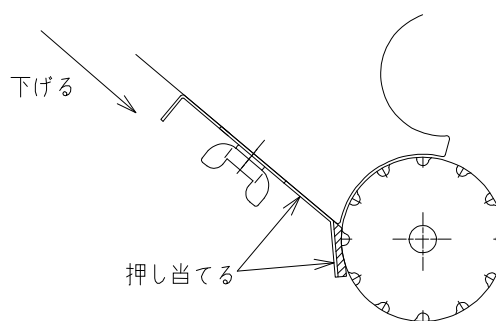
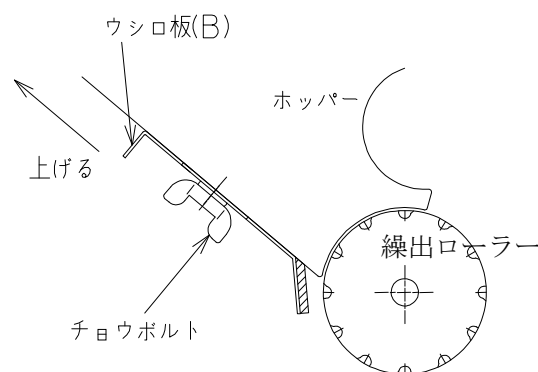
7-6 肥料の回収及び処置

残留肥料の回収は、ウシロ板（B）の開閉により行います。

- （１）ホッパー下部のチョウボルトを緩め、ウシロ板（B）を上方に上げます。
- （２）ホッパー内の肥料を全て回収しましたら、ウシロ板（B）を下げ、チョウボルトを締めます。
ウシロ板（B）を固定する際、次のことに注意してください。

- ・ホッパーと繰出ローラーに押し当てて固定してください。
スキマがあると肥料が洩れてしまいます。

- （３）ローラー内に残った肥料は、ウシロ板（B）を固定した後、本機を作動させて回収してください。
- （４）苗箱に入らず飛散した肥料は、回収し肥料の取扱方法に従い処置してください。



◎肥料の回収は、施肥ホッパー周辺（コンベアー）の泥、土が混入しない様に、必ず清掃してから実施してください。

◎作業終了後は各スイッチを『OFF』にし、電源コードをコンセントから必ず抜いてください。

8. 点検・整備及び保管上の注意

- (1) 作業終了後、洗浄する場合は、電源コードをコンセントから外し、モーター及びスイッチへの放水はしないように注意してください。
- (2) よく乾かした後、**チェーン（回転部）へ必ず給油**してください。
- (3) 本機の格納は、Vベルト・プラスチックを使用していますので直射日光をさけて、風通しの良い所へ格納してください。
- (4) 残留肥料

施肥作業終了後は、ホッパー内の肥料を全て回収して下さい。

施肥ホッパーは、空運転して**繰り出しロール**に肥料を残さないようにして下さい。

肥料受と**施肥ショット**を外し、掃除をして下さい。

◎回収した肥料、又は、未使用のものは、肥料に記載されている「保管上の注意」をよく読んで必ず守って下さい。

実り豊かな明日をひらく

株式会社 スズテック

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地44-3
代 表／TEL.028(664)1111 FAX.028(662)5592
URL <http://www.suzutec.co.jp>